

2027年3月期第1四半期 決算説明資料

2026年7月29日
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2026 FDK CORPORATION

2026年度第1四半期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2026年度第1四半期の業績	
連結決算のポイント	3
2026年度第1四半期連結決算概要	4
営業利益変動要因(前年同期比)	5
連結貸借対照表	6
セグメント別情報	7
2. 2026年度(通期)見通し	9
3. 参考資料	10
4. トピックス	13

今回ご説明させていただく内容です。

連結決算のポイント

FDK

■ 連結全体

売上高：136.1億円(前年同期比：△9.1億円、△6.3%)

電池事業のニッケル水素電池やリチウム電池で増収も、電子事業、設備関連ビジネスおよびアルカリ乾電池で減収

営業利益：2.2億円(前年同期比：+ 0.1億円、+ 7.2 %)

電子事業で減益も、電池事業での増収や技術VEによるコストダウン、さらに円安効果も加わり増益

経常利益：1.0億円(前年同期比：+ 0.4億円、+ 64.6 %)

営業利益の増加や為替差損の減少による営業外損益の好転により増益

四半期純利益：0.1億円(前年同期比：+ 1.2億円)

経常利益の増加や減損損失の減少による特別損益の好転により増益

■ セグメント別

電池事業：売上高 前年同期比：+ 7.3億円、+ 6.6 %

- ・ニッケル水素電池が海外の車載用途向けで増加
- ・リチウム電池が国内外のスマートメータ用途向けで増加
- ・設備関連ビジネスが自動車関連設備で減少
- ・アルカリ乾電池が国内市販向けで減少

電子事業：売上高 前年同期比：△16.4億円、△ 49.5 %

- ・各種モジュールがモビリティ用途向けで減少
- ・スイッチング電源が半導体製造装置用途向けで減少
- ・トナーが減少

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

はじめに、決算のポイントです。

■ まず、連結全体についてです。

売上高は、電池事業のニッケル水素電池やリチウム電池で増収も、電子事業、設備関連ビジネスおよびアルカリ乾電池で減収となりました。

営業利益は、電子事業で減益も、電池事業での増収や技術VEによるコストダウン、さらに円安効果も加わり増益となりました。

経常利益は、営業利益の増加や為替差損の減少による営業外損益の好転により増益となりました。

四半期純利益は、経常利益の増加や減損損失の減少による特別損益の好転により増益となりました。

■ 次に、セグメント別についてです。

電池事業は、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減収、アルカリ乾電池が国内市販向けで減収も、ニッケル水素電池が海外の車載用途向けで増収、リチウム電池が国内外のスマートメータ用途向けで増収となり、セグメント全体で前年同期比6.6%増となりました。

電子事業は、各種モジュールがモビリティ用途向けでの減少に加え、スイッチング電源が半導体製造装置用途向けで減少やトナーも減少し、セグメント全体で前年同期比49.5%減となりました。

2026年度第1四半期連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2025年度1Q	2026年度1Q	前年同期比	増減率
売上高	145.2	136.1	△9.1	△6.3%
営業利益 (営業利益率)	2.1 (1.5%)	2.2 (1.7%)	+0.1 (+0.2pt)	+7.2%
経常利益 (経常利益率)	0.6 (0.4%)	1.0 (0.8%)	+0.4 (+0.4pt)	+64.6%
四半期純利益(△損失)※ (純利益率)	△1.0 (△0.7%)	0.1 (0.1%)	+1.2 (+0.8pt)	—%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	△3.13円	0.53円	+3.66円
------------	--------	-------	--------

為替レート (円/1USD)	145.34円	159.90円	+ 14.56円
(円/1EUR)	162.60円	185.49円	+ 22.89円

ROIC※	0.6%	0.6%	△0.0pt
-------	------	------	--------

※ROIC = 税引後営業利益/(自己資本 + 有利子負債)

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結決算概要です。

■ 電池事業の売上高は、設備関連ビジネスが自動車関連設備やアルカリ乾電池が国内市販向けで減少したものの、ニッケル水素電池が海外の車載用途向けで増加、リチウム電池が国内外のスマートメータ用途向けで増加したことにより、事業全体として増収となりました。電子事業の売上高は、各種モジュールがモビリティ用途向けでの減少に加え、スイッチング電源が半導体製造装置用途向けで減少やトナーも減少し、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期と比べ9.1億円減少の136.1億円となりました。

■ 営業利益は、電池事業で原材料価格の変動による影響はあるものの、ニッケル水素電池やリチウム電池の売上増、為替の影響や技術VEによるコストダウンにより、事業全体として増益となりました。電子事業は売上減により、減益となりました。

この結果、前年同期と比べ0.1億円増加の2.2億円となりました。

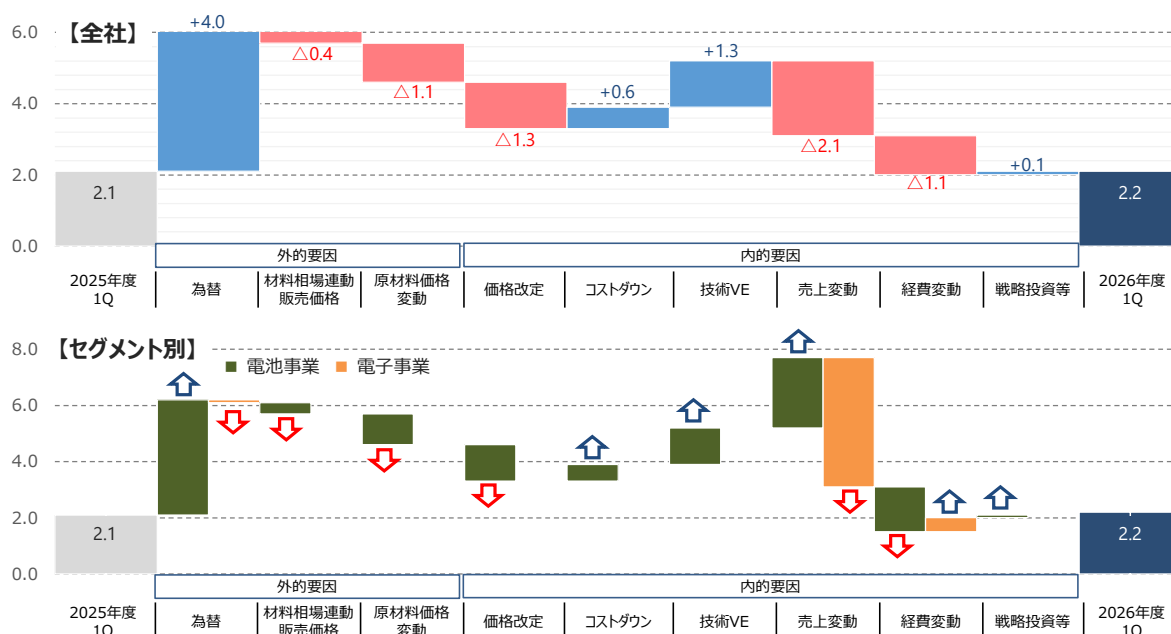
■ 経常利益は、営業利益の増加や為替差損の減少による営業外損益の好転により前年同期と比べ0.4億円増加の1.0億円となりました。

■ 四半期純利益は、経常利益の増加や減損損失の減少による特別損益の好転により前年同期と比べ1.2億円増加の0.1億円となりました。

■ ROICは、前年同期と比べ0.0pt減の0.6%となりました。

営業利益変動要因(前年同期比)

(単位：億円)	2025年度1Q	2026年度1Q	前年同期比	増減率
営業利益(営業利益率)	2.1(1.5%)	2.2(1.7%)	+0.1 (0.2pt)	+7.2%



© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

営業利益の変動要因です。

■ 全体の営業利益は、売上変動と価格改定による減益要因がありましたが、為替の影響や技術VEによるコストダウンによる増益要因により、前年同期比0.1億円増加の2.2億円となりました。

■ 電池事業では為替の影響と売上変動は好転要因で、経費増と価格改定が減益要因となりました。

■ 電子事業では経費削減による好転要因がありましたが、売上変動が大きな減益要因となりました。

連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

科 目	2025年度	2026年度 1Q	増減	科 目	2025年度	2026年度 1Q	増減
流動資産	316.6	307.9	△8.6	流動負債	272.2	257.2	△14.9
(現金及び預金)	(52.3)	(46.0)	(△6.3)	(支払手形及び買掛金)	(63.3)	(57.8)	(△5.4)
(受取手形及び売掛金)	(134.5)	(124.5)	(△10.0)	(電子記録債務)	(6.6)	(5.5)	(△1.0)
(商品及び製品)	(30.0)	(39.6)	(+9.6)	(短期借入金)	(159.0)	(161.5)	(+2.5)
(仕掛品)	(32.5)	(30.8)	(△1.6)	(未払金)	(16.8)	(13.8)	(△2.9)
(原材料及び貯蔵品)	(44.0)	(48.3)	(+4.3)	(その他流動負債)	(24.8)	(18.0)	(△6.8)
(その他流動資産)	(15.9)	(11.3)	(△4.6)	固定負債	8.9	8.5	△0.3
固定資産	155.8	153.1	△2.6	(リース債務)	(0.6)	(0.5)	(△0.0)
(有形固定資産)	(141.2)	(138.6)	(△2.6)	(繰延税金負債)	(3.6)	(3.3)	(△0.2)
				負債合計	281.2	265.8	△15.3
				株主資本	142.2	142.8	+0.6
				(資本金)	(30.0)	(30.0)	(-)
				(資本剰余金)	(30.9)	(30.9)	(-)
				(利益剰余金)	(81.7)	(82.3)	(+0.6)
				その他の包括利益累計額	47.8	51.1	+3.2
				(為替換算調整勘定)	(38.6)	(41.9)	(+3.2)
				純資産合計	191.3	195.2	+3.9
資産合計	472.5	461.1	△11.3	負債純資産合計	472.5	461.1	△11.3
自己資本比率	40.2%	42.1%	+1.9pt	有利子負債残高	159.9	162.3	+2.4

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結貸借対照表です。

■流動資産は、前年度と比べ8.6億円減少の307.9億円となりました。流動資産減少の主な要因は、商品及び製品などの棚卸資産が増加した一方、受取手形及び売掛金や未収消費税などのその他流動資産が減少したことによるものです。

■固定資産は、前年度と比べ2.6億円減少の153.1億円となりました。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産が減少したことによるものです。

■流動負債は、前年度と比べ14.9億円減少の257.2億円となりました。流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金、未払賞与や未払法人税等などのその他流動負債が減少したことによるものです。

■固定負債は、前年度と比べ0.3億円減少の8.5億円となりました。固定負債減少の主な要因は、繰延税金負債が減少したことによるものです。

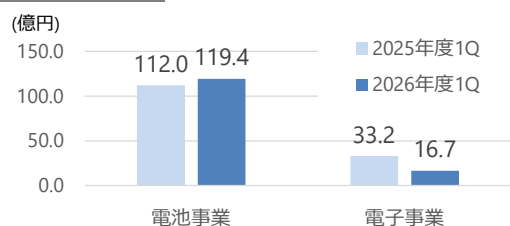
■純資産合計は、前年度と比べ3.9億円増加の195.2億円となりました。純資産増加の主な要因は、為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

■有利子負債残高は、主に借入金の増加により、前年度と比べ2.4億円増加の162.3億円となりました。

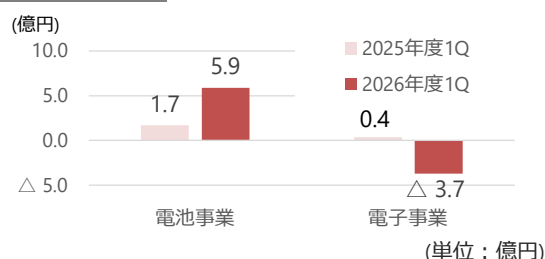
セグメント別情報

FDK

売上高



営業利益



		2025年度1Q	2026年度1Q	前年同期比	増減率
電池事業	売上高	112.0	119.4	+7.3	+6.6%
	セグメント利益 (率)	1.7 (1.5%)	5.9 (5.0%)	+4.2 (+3.5pt)	+251.7%
電子事業	売上高	33.2	16.7	△16.4	△49.5%
	セグメント利益(△損失) (率)	0.4 (1.3%)	△3.7 (△22.1%)	△4.1 (△23.4pt)	△954.9%
合計	売上高	145.2	136.1	△9.1	△6.3%
	営業利益 (率)	2.1 (1.5%)	2.2 (1.7%)	+0.1 (+0.2pt)	+7.2%

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高は、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減少、アルカリ乾電池が国内市販向けで減少しましたが、ニッケル水素電池が海外の車載用途向けで増加、リチウム電池が国内外のスマートメータ用途向けで増加し、前年同期と比べ7.3億円増加の119.4億円、セグメント利益は原材料価格の変動による影響はあったものの、ニッケル水素電池やリチウム電池の売上増、為替の影響や技術VEによるコストダウンにより、前年同期と比べ4.2億円増加の5.9億円となりました。

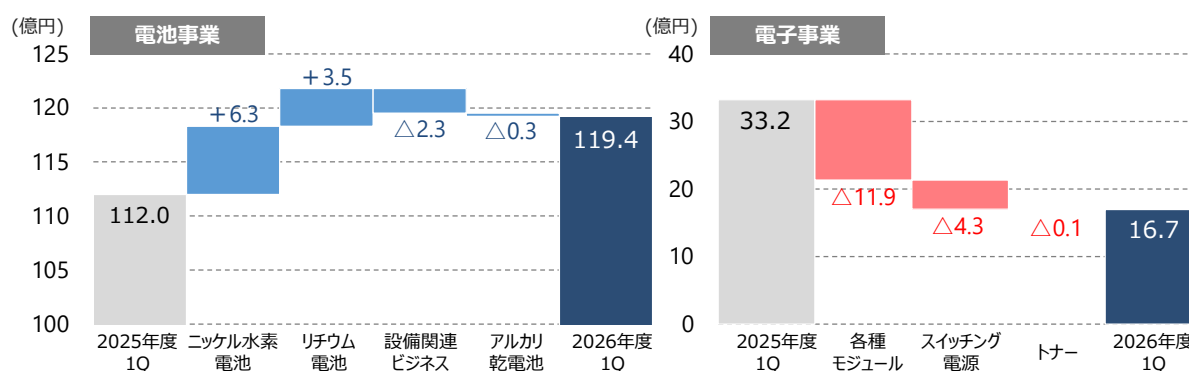
■ 電子事業の売上高は、各種モジュールがモビリティ用途向けでの減少に加え、スイッチング電源が半導体製造装置用途向けで減少やトナーも減少したことにより、前年同期と比べ16.4億円減少の16.7億円、セグメント利益は売上減により、前年同期と比べ4.1億円減少の3.7億円の損失となりました。

セグメント別情報(売上概況)

FDK

(単位：億円)

		2025年度1Q	2026年度1Q	前年同期比	増減率
電池事業	売上高	112.0	119.4	+7.3	+6.6%
	セグメント利益(率)	1.7(1.5%)	5.9(5.0%)	+4.2(3.5pt)	+251.7%
電子事業	売上高	33.2	16.7	△16.4	△49.5%
	セグメント利益(△損失)(率)	0.4(1.3%)	△3.7(△22.1%)	△4.1(△23.4pt)	△954.9%
合計	売上高	145.2	136.1	△9.1	△6.3%
	営業利益(率)	2.1(1.5%)	2.2(1.7%)	+0.1(+0.2pt)	+7.2%



© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

セグメント別の売上概況です。

- ニッケル水素電池は、海外の車載用途向けが増加したことにより前年同期を上回りました。
- リチウム電池は、国内外のスマートメータ用途向けが増加したことにより前年同期を上回りました。
- 設備関連ビジネスは、前年同期まで続いた旺盛な自動車関連設備需要が一服したことにより前年同期を下回りました。
- アルカリ乾電池は、国内市販向けが減少したことにより前年同期を下回りました。

続いて、電子事業については、

- 各種モジュールは、モビリティ用途向けが減少したことにより前年同期を下回りました。
- スイッチング電源は、半導体製造装置用途向けが減少したことにより前年同期を下回りました。
- トナーは、前年同期を下回りました。

2026年度(通期)見通し

FDK

(単位：億円)

	2025年度 (実績)	2026年度 (予想)	前年度比	増減率
売上高	595.6	600.0	+4.3	+0.7%
営業利益 (営業利益率)	16.6 (2.8%)	14.0 (2.3%)	△2.7 (△0.5pt)	△16.0%
経常利益 (経常利益率)	14.1 (2.4%)	13.0 (2.2%)	△1.1 (△0.2pt)	△8.2%
当期純利益※ (当期純利益率)	7.4 (1.3%)	7.5 (1.3%)	+0.0 (+0.0pt)	+0.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	21.60円	21.74円	+0.14円
------------	--------	--------	--------

為替レート (円/1USD)	150.24円	155.00円	+4.76円
(円/1EUR)	172.87円	180.00円	+7.13円

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

2026年度の見通しです。

- 売上高は、600億円で4.3億円の増収。
- 営業利益は、14億円、経常利益は13億円、純利益は7億50百万円の見通しです。
営業利益は、売上変動による増益はあるものの、材料相場変動や経費増加（人件費の上昇）などの影響により、前年同期比△2.7億円の減益。
- 為替レートは、1USD＝155.00円、1ユーロ＝180.00円を想定しております。

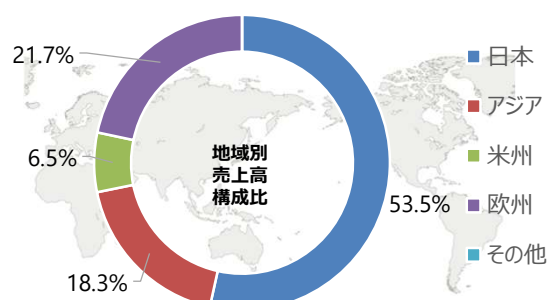
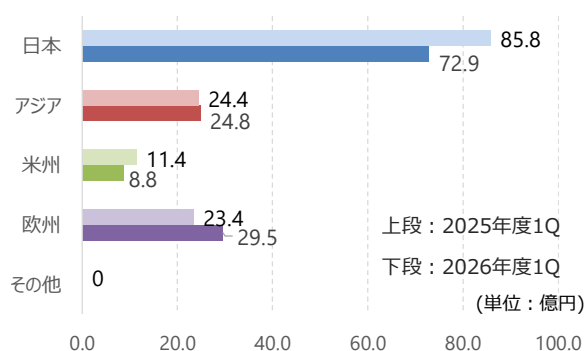
なお、今後、市場の動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

参考資料

地域別売上高

FDK

(単位：億円)	2025年度1Q		2026年度1Q		前年同期比	増減率
日本	85.8	59.1%	72.9	53.5%	△12.9	△15.1%
アジア	24.4	16.9%	24.8	18.3%	+0.3	+1.4%
米州	11.4	7.9%	8.8	6.5%	△2.5	△22.7%
欧州	23.4	16.1%	29.5	21.7%	+6.1	+26.2%
その他	0.0	0.0%	-	-	△0.0	-
合計	145.2	100%	136.1	100%	△9.1	△6.3%
海外売上高比率	40.9%		46.5%			



※「地域別売上高」は顧客の所在地別売上を示しています

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

FDK

(単位：億円)	2025年度1Q	2026年度1Q	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	2.5	△1.0	△3.6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6.2	△9.4	△3.1
フリー・キャッシュ・フロー	△3.7	△10.5	△6.7
財務活動によるキャッシュ・フロー	1.4	2.4	+1.0
現金及び現金同等物の期末残高	44.4	46.0	+1.6

設備投資	7.9	3.2	△4.7
減価償却費	5.6	5.8	+0.2

© 2026 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

1) FDKは2026年もミニ四駆ジャパンカップを応援します！

当社は、模型メーカーの株式会社タミヤが主催するミニ四駆^(*)日本一決定戦『Powered by FDK ミニ四駆ジャパンカップ2026 Drive On ヨコハマタイヤ』を大会スポンサーとしてサポートします。

*1：ミニ四駆は株式会社タミヤの登録商標です。



2) Bluetooth® ver.6に対応した超小型モジュールの新製品「HY0025」のサンプル出荷を開始

世界最小クラスの「Bluetooth Low Energyモジュール」の第3弾として新製品「HY0025」を開発し、国内の一部顧客向けに7月よりサンプル出荷を開始いたします。また、国内一般、及び海外顧客向けについては、2027年1月よりサンプル出荷を開始する予定です

*：Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です



© 2026 FDK CORPORATION

最後に、トピックスです。

1) 当社は、模型メーカーの株式会社タミヤが主催するミニ四駆日本一決定戦『Powered by FDK ミニ四駆ジャパンカップ2026 Drive On ヨコハマタイヤ』を大会スポンサーとしてサポートします。

2) 当社は、世界最小クラスの「Bluetooth Low Energyモジュール」の第3弾として新製品「HY0025」を開発し、国内の一部顧客向けに7月よりサンプル出荷を開始いたします。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されてる合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信を参照していただきますようお願いいたします。

FDK

確かな技術 育てる未来